

第 55 回プログラミング・シンポジウムの準備にあたって

今年度から幹事長が交替し、新たに私が幹事長を務めることになりました。どうか宜しくお願い申し上げます。

最近のコンピュータサイエンス分野の会議は、より専門的な範囲のテーマを扱う国際会議が主力となっており、「プログラミング」のような広い意味の言葉を冠する会議は、位置付けが難しくなっています。本シンポジウムも例外ではなく、何とかして活性化をはかっていく必要があると感じています。活性化をはかるための鍵の一つは、若い発表者と参加者を増やすことにあります。それで今年は、学生の発表申し込みを奨励することを目的として、学生による発表論文を対象を限定した「コメントフィードバック」を試行してみました。

コメントフィードバックとは、シンポジウムでの発表と議論をより実のあるものにし、研究の将来の大きな発展を応援するために、最終締切より半月ほど早く提出していただいた論文に対して、論文をより良くするためのコメントを1週間程度を目安としてお返しするという仕組みです。締切までの約1週間の残り時間を使って、コメントを参考にして論文を改善していただくことを期待しています。コメントフィードバックは、いわゆる「査読」ではありませんが、研究の方向性や関連する研究、論文の書き方など、いろいろな視点からの有益なコメントを得ることができます。論文著者の学生の皆さんにとって、日程的にはきつくなります(コメントを担当する幹事にとってもきつい日程です)が、メリットの多いものと思っています。

結果、コメントフィードバックを希望する発表論文は、一般講演 15 件中の 7 件(うち 1 件は後日フィードバック希望を取り消し)であり、初年度としてはおおむね順調な滑り出しだったと考えています。

昨年の夏のプログラミング・シンポジウムは、一昨年の「ビューティフルコード」の続編である「ビューティフルデータ」というテーマで、2013年8月25日に開催しました。一昨年の方式を踏襲し、都内で日帰り開催、参加費無料としました。幹事の多田好克先生、中山心太さん、竹迫良範さん、比戸将平さん、また会場を提供してくださった株式会社ドリコム様、どうもありがとうございました。

第 46 回情報科学若手の会は、2013年9月14日から16日まで、静岡県伊東市の山喜旅館で開催されました。台風の影響で帰路の足が心配されたため、当初の予定の変更を余儀なくされたということでしたが、若手の会幹事の方々の適確な判断で大きな混乱もなく無事に終了することができました。幹事の浅野智之さん、會川景介さん、橋本竜也さん、山下美穂さん、小谷大祐さん、岩成達哉さん、大島孝子さん、どうもありがとうございました。

前年度からの幹事団の変化は、前幹事長の並木美太郎さん、幹事の笹田耕一さん、足田敏朗さんが退任されました。どうもお疲れさまでした。かわって今年度は、山田浩史さんを新たに幹事にお迎えしました。システムソフトウェアの分野で幅広くご活躍の山田さんの加入は、本シンポジウムに新しい風を吹き込んでくださると期待しております。今年度末で退任予定の幹事はおりません。現在の幹事は、長慎也さん、中山心太さん、松崎公紀さん、三好建文さん、山田浩史さん、横山大作さんです。なお今回のシンポジウムは、サイボウズ株式会社様からスポンサーとしてのご支援をいただいております。

プログラミング・シンポジウム委員会

幹事長 岩崎 英哉 (電気通信大学)